

|       |          |
|-------|----------|
| 本社    | 東京都港区    |
| 東京支社  | 東京都港区    |
| 大阪支社  | 大阪府大阪市   |
| 名古屋支社 | 愛知県名古屋市  |
| 福岡支社  | 福岡県福岡市   |
| 仙台支社  | 宮城県仙台市   |
| 札幌支社  | 北海道札幌市   |
| 青森支社  | 青森県青森市   |
| 岩手支社  | 岩手県盛岡市   |
| 秋田支社  | 秋田県秋田市   |
| 山形支社  | 山形県山形市   |
| 福島支社  | 福島県福島市   |
| 茨城支社  | 茨城県水戸市   |
| 栃木支社  | 栃木県宇都宮市  |
| 群馬支社  | 群馬県高崎市   |
| 埼玉支社  | 埼玉県さいたま市 |
| 千葉支社  | 千葉県千葉市   |
| 神奈川支社 | 神奈川県横浜   |
| 新潟支社  | 新潟県新潟市   |
| 富山支社  | 富山県富山市   |
| 石川支社  | 石川県金沢市   |
| 福井支社  | 福井県福井市   |
| 山梨支社  | 山梨県甲府市   |
| 長野支社  | 長野県長野市   |
| 岐阜支社  | 岐阜県岐阜市   |
| 愛知支社  | 愛知県名古屋市  |
| 三重支社  | 三重県津市    |
| 滋賀支社  | 滋賀県彦根市   |
| 京都支社  | 京都市      |
| 和歌山支社 | 和歌山県和歌山市 |
| 奈良支社  | 奈良県奈良市   |
| 大阪支社  | 大阪府大阪市   |
| 兵庫支社  | 兵庫県神戸市   |
| 徳島支社  | 徳島県徳島市   |
| 香川支社  | 香川県高松市   |
| 愛媛支社  | 愛媛県松山市   |
| 高松支社  | 高松市      |
| 高知支社  | 高知県高知市   |
| 福岡支社  | 福岡県福岡市   |
| 佐賀支社  | 佐賀県佐賀市   |
| 熊本支社  | 熊本県熊本市   |
| 大分支社  | 大分県大分市   |
| 宮崎支社  | 宮崎県宮崎市   |
| 鹿児島支社 | 鹿児島県鹿児島市 |
| 沖縄支社  | 沖縄県那覇市   |

スイケイマーケット

噴火湾ホタテ始まる 5

減産高値気配

さばける 男子 8

豊洲移転問題 記者座談会 6-7

「魚食」番外編 青森魚類 西澤さん 3

年末展示会 各地で活発に 3

全道みな貯金運動 中間純増550億円 2



科学根拠ない輸入

ICFAが決議



会見する白須会長(中央)、吉田会長、長島専務

サメ規制に危機意識

マクロの資源管理については、中西部太平洋で急増している大型サメ網の過剰漁獲能力の抑制が喫緊の課題。回船によるFAD(集魚装置)操業を主な要因として、メバチ資源が乱獲状態にあることから、漁獲量削減のための努力を要請した。

サメの漁獲規制が強化されている問題については、ワシントン条約(CITES)締約国会議で多様な付属書掲載が認められたように、科学的根拠なくサメの利用が制限されることについて、スペインや豪州など会員国の危機意識が高まっていることを確認。サメ類が環境団体の主要な攻撃対象の一つとなっており、継続的に対応を検討することで一致した。

エコラベルの多様性に理解

エコラベルについては、海洋管理協議会(MSC)認証だけでなく、国や地域の事情に適した多様なエコラベルが存在

環境団体に強い危機感

白須会長は「環境団体

みらい造船、工場起工

震災復興へ新たな発想で

【気仙沼】東日本大震災で被災した気仙沼の造船および関連会社で設立したみらい造船(木戸浦健敏社長)は21日、市内の朝日町で、新たな工場と事務所の新築工事に向けた起工式を行った。船を上下架する揚陸施設(ツプリフト方式)を採用し、津波被害を受けにくい防潮堤内で作業できるようにするなど、震災からの復興に、新たな発想で造船所を建設する。平成30年12月に完成し、31年初旬開業を予定する。

30年12月完成予定

みらい造船の施設は、安全に上下架でき、国内に例しかないツプリフト方式を採用する。海中に降ろした橋に船を乗せ、エレベーターのように陸上工場の高さまで上昇させてから、防潮堤内の船台へ引き込む。一般的な斜路を使う引き揚げ・進水と比較し、

の船を受け入れられる。漁業者にとって利用しやすい造船所となり、気仙沼漁港への漁船誘致と水揚げ増にも貢献する。現行の造船所で建造の多い沖合底びき網やサンマ樺受網、まき網漁船のほか、400トクラスの大型マクロ漁船に加えて中型カツオ漁船の建造も復活させ、全国の漁船漁業に貢献。漁業、造船業

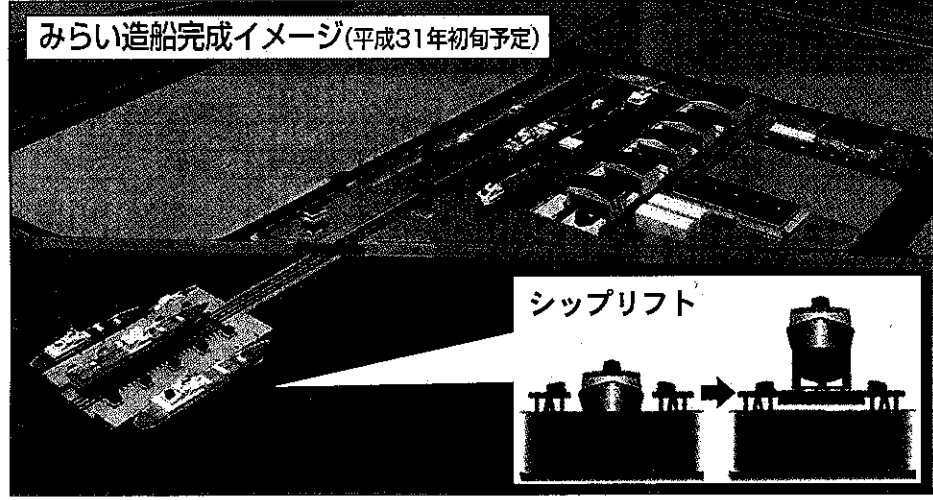
未来へつなぐ造船所

市内で造船会社がある

波板地域は、震災で地盤沈下して海岸線が約10メートル後退し、作業エリアが激減した。物理的要因から完全復旧できないため、新たな場所での復興を起す。地域の造船および関連会社が協業体制を構築し、27年に造船5社と関連会社の計7社でみらい造船を設立した。

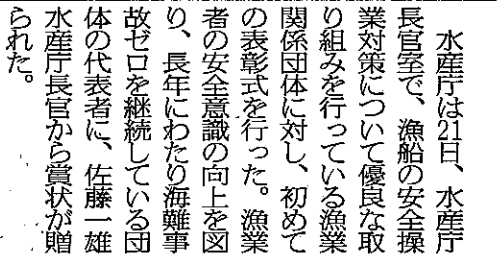


くわ入れする木戸浦社長(右端)ら



みらい造船完成イメージ(平成31年初旬予定)

シップリフト



「八戸前沖さば」認定開始

マサバ、10月6日か

【八戸】三陸を代表するブランド推進協議会(武)は9月12日から認定開始日(武)は20日、八戸前沖で「認定出発式」を行って、マサバの認定が6日からスタートした。八戸前沖さばは、認定開始日は毎年、サバの水揚げ状況、魚体、粗脂肪分などを基に同協議会が決められている。今年度は10月6日、約70億円の国土交通省の造船業等復興支援事業費補助金が活用される。施工業者は五洋建設。

シンポジウム  
違法漁業から水産資源・水産業を守る

11月10日(木) 16:00~17:45

会場：衆議院第一議員会館(東京・永田町)  
申込等：参加費無料 要事前登録

違法漁業とは？  
国際的な漁業資源管理の枠組みを逃れて行われる違法・無報告・無規制(IUU)漁業。水産資源の持続的な利用に影響をもたらす問題です。EUと米国から専門家を招いて輸入規制や消費者への情報提供等、欧米の最新対策を紹介し、日本での取組みを考えます

GR Japan 株式会社 シンポジウム担当

「八戸前沖さば」認定開始  
マサバ、10月6日か

【八戸】三陸を代表するブランド推進協議会(武)は9月12日から認定開始日(武)は20日、八戸前沖で「認定出発式」を行って、マサバの認定が6日からスタートした。八戸前沖さばは、認定開始日は毎年、サバの水揚げ状況、魚体、粗脂肪分などを基に同協議会が決められている。今年度は10月6日、約70億円の国土交通省の造船業等復興支援事業費補助金が活用される。施工業者は五洋建設。